

(介 127)

令和 2 年 9 月 25 日

都道府県医師会

担当理事 殿

日本医師会常任理事

江 澤 和 彦

(公 印 省 略)

「令和 2 年度在宅医療関連講師人材養成事業」研修会に関する
ご協力をお願いについて（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、厚生労働省の委託事業として「令和 2 年度在宅医療関連講師人材養成事業」研修会が別添のとおり実施されることとなりました。

本研修会は平成 27 年度より、日本在宅ケアアライアンスが主催、本会が共催する研修会として開催されており、地域において在宅医療に関する進捗状況を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役、そして様々な研修会の講師役となれる医師を養成できるよう実施されるものです。

今年度の本研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの開催となります。

今後、本研修会の事務局を担当する勇美記念財団より貴会宛てに受講者募集に関する周知依頼がありますので、貴会におかれましても本内容をご了知いただき、本研修会受講者の推薦に際しましては、受講対象者が都道府県医師会からの推薦であることを踏まえつつ、郡市区医師会および会員へ広く周知を賜りたく、ご協力方向卒宜しくお願い申し上げます。

また、本研修会終了後に都道府県行政等が地域において同様の研修会を開催する場合には、その研修内容や講師選定について、貴会に相談していただくことになっております。

その際には、貴会と都道府県行政との協議により、本研修会の資料や受講者を活用いただく等、都道府県行政の取組に協力いただきたく併せてお願い申し上げます。

なお、本研修会の受講者リストおよび今後地域において同様の研修会を開催する場合に講師選定等の協議を行うことについては、厚生労働省より都道府県行政に対しても情報提供されることを申し添えます。

(添付資料)

- ・「令和 2 年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会」における都道府県医師会へのご案内について（依頼）
(令 2.9.18 日本在宅ケアアライアンス議長、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団理事長 通知)



令和2年9月18日

公益社団法人 日本医師会

会長 中川 俊男 様

日本在宅ケアアライアンス

議長

新田 國夫

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

理事長

住野 耕三



「令和2年度在宅医療関連講師人材養成事業 研修会」における
都道府県医師会へのご案内について（ご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、令和2年度厚生労働省在宅医療関連講師人材養成事業として、地域において在宅医療に関する進捗状況を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役、且つ研修会の講師役となれる医師を養成できるよう、本研修を日本在宅ケアアライアンスおよび在宅医療助成 勇美記念財団にて実施いたします。なお、本年度はコロナ禍の影響を鑑み、オンラインでの開催を予定しております。

本研修会は、都道府県医師会よりご推薦された先生方等を受講対象者として予定しておりますので、その趣旨をご了知いただき、都道府県医師会のご協力を賜りたくご高配いただけますようお願い申し上げます。

研修会への申込方法等の詳細につきましては、別途事務局より都道府県医師会に郵送にてご案内いたします。なお、インターネットからの申込開始は、9月下旬頃を予定しております。ご不明な点等がございましたら事務局までお問い合わせください。

敬具

催 事 名	令和2年度 在宅医療関連講師人材養成事業 (高齢者を対象とした在宅医療分野) 研修会
開 催 日 時	令和2年11月1日 (日) 13:00～16:30 (予定)
開 催 形 式	①オンラインを活用した事前学習 (10月10日頃～) ②オンラインを活用したグループワーク (11月1日) (予定)
テ ー マ	COVID-19がもたらした医療的問題と社会的問題
目 的	地域において在宅医療に関する進捗状況を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役や様々な研修会の講師役を担える医師を養成する。
主 催	日本在宅ケアアライアンス (JHHCA) 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
事 務 局	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 事務局 (担当: 伊藤) 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-1 全共連ビル麹町館 TEL: 03-5226-6266 FAX: 03-5226-6269 メール: yuumizaidan@nifty.com

＜令和2年度在宅医療関連講師人材養成事業 研修会＞

プログラム

テーマ 「COVID-19 がもたらした医療的問題と社会的問題」

＜事前学習＞ 【1 講義 20 分、計 160 分】

第1部 地域性を踏まえた COVID-19 への在宅医療としての対応

1 沖縄からの報告

沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科 副部長

高山 義浩

2 北海道からの報告

医療法人財団老蘇会 静明館診療所

大友 宣

3 東京都新宿区からの報告

医療法人社団 三育会 理事長

英 裕雄

第2部 それぞれの立場からの COVID-19 への対応 ～在宅を踏まえて～

4 日本医師会の立場から

日本医師会 常任理事

江澤 和彦

5 保健所の立場から

山形県庄内保健所 所長

蘆野 吉和

6 かかりつけ医の立場から

日本在宅ケアアライアンス

太田 秀樹

7 意思決定支援について、法律家の立場から

中京大学法務総合教育研究機構 教授

稲葉 一人

8 フレイル予防の立場から

東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 教授

飯島 勝矢

＜グループワーク＞ 【2020 年 11 月 1 日（日）13：00～16：30】

総合司会：日本在宅医療連合学会 鶴岡 優子

13：00～13：05 開会挨拶

日本在宅ケアアライアンス 議長 新田 國夫

13：05～13：10 当事業について

厚生労働省 医政局長

迫井 正深

13：10～13：25 本日のグループワークについて

総合司会にて

13：25～14：25 アイスブレイク、グループディスカッション①

テーマ「COVID-19 における地域連携と多職種協働」

14：25～14：30 休憩

14：30～15：20 グループディスカッション②

テーマ「COVID-19 がもたらした医療的課題と社会的課題

～PCR・抗原検査、感染予防（PPE）、フレイル、

ACP（意思決定支援）、経営、スティグマなど～」

15：20～15：30 休憩

15：30～16：25 グループワークのまとめ（パネルディスカッション）

座長：日本在宅医療連合学会

石垣 泰則

日本プライマリ・ケア連合学会

大橋 博樹

16：25～16：30 閉会挨拶

総合司会にて